

全ての「社長のひとりごと」がWEBで読める!
『くぼかわよしみち.com』毎月20日更新!!

くぼかわよしみち.com

検索

ホームページ

asahiglobal.co.jp
├ global-mie.co.jp
└ super-chintai.com
agg-hd.co.jp
├ goldtrust.co.jp
├ goldage.co.jp
├ otona-souzoku.com
└ kubokawayoshimichi.com



アサヒグローバル株式会社 代表取締役
ゴールドトラスト株式会社 代表取締役
ゴールドエイジ株式会社 代表取締役

文／久保川 議道

text:Yoshimichi Kubokawa

ゴールドエイジの『開業ラッシュ』

1月に稲沢市(31戸)、2月に春日井市(28戸)、4月に瀬戸市(28戸)、同じく4月に鈴鹿市の末広(53戸)、9月に二宮市の三條(33戸)、11月に二宮市の千秋(51戸)、12月に甲府(28戸)。一年間で7事業所、252戸を新規で開業いたします。サ高住の申請や建設には2年から3年の長い時間がかかりますから、今年の開業は既に2年以上前からの計画だったのですが…。実際にこれだけの数を開業したのは初めての経験なので、現場の社員さん達も四苦八苦で大変なんですね。

まず一番重要なことは①館長さんの誰にするかです。このリーダー一人の能力と実力で全て各館の成績が決まってしまうんです。ゴールドエイジにはたくさん優秀な館長さん達が居るのですが、新しく開業するためには、新しい館長さんが必要ですね。初めて館長さんになる人が7人も必要なんです。だから色々失敗したり成功したり経験するしかありません。そうやって優秀な館長さん達が育成されていきます。

②に、働くヘルパーさん達の採用が難しいということは皆さんもご存知だと思います。ヘルパーさんが採

用できなくて開業できないサ高住があるほどです。給与や時給を高くすれば採用できる…。という訳ではありません。運営する会社の考え方や、教育体制や、働きやすいシフトの組み方などヘルパーさんの立場になることですね。家族でもできない様な厳しい仕事ですから、ヘルパーさん一人の事を考えてバックアップやフォローやケアが必要です。

③に、あとは入居者が入るかどうかですが…。入居者はなかなか入居してくれません。サ高住運営会社全体の平均入居率は50%以下と言われていますが、それほどサ高住の入居は難しいのです。募集しても募集しても入居者は来てくれませんね。だからゴールドエイジは募集しません。ご紹介をお願いして入居者を集めています。まあこれが一番いい方法ですね。信用と評判を良くしてご紹介で入居していただいています。

さて今年が開業するゴールドエイジは新しい方針で運営しています。①開業時半年間は最小の社員数で行っています。そして入居者の人数に合わせて社員の数を増やします。

②事務担当の社員を採用してい

ません。ヘルパーさん一人一人が事務処理まで全て行うということ。私はこれでいいと思います。

③介護保険以外の『生活支援』がゴールドエイジの特色だったので、なんでもかんでも生活支援で行うことは止めました。介護保険でやれることは生活支援ではやりません。そう決めました。ですから生活支援の社員を減らして、ヘルパーとしての仕事に徹底しています。

④稲沢・春日井・瀬戸はPT(理学療法士)を採用してリハビリに特化させています。

⑤一部の館では障害者保険の対象の入居者を受け入れています。病院にも居られない。介護施設にも入れない。自宅で生活することが困難な障害者の人も、ゴールドエイジは『施設』ではなく『住宅』ですから入居できます。資格を持った専任のスタッフも居ますから安心ですね。

ということ。今年は大変に忙しい1年となつてしまいましたが、社員一同、力を合わせて頑張りました。そして『サ高住が日本を救う』。できれば『ゴールドエイジが見本を見せて』ことが少しでも実現できれば、こんな嬉しいことはありませんね。

わくわく

夢

ニュース【高齢者住宅】

2017

8月

No.127

ゴールドエイジ春日井
「できる」を支える住まいを
テーマに運営しています。
ケアスタッフと理学療法士で生活リハビリに取り組んでいます。

